

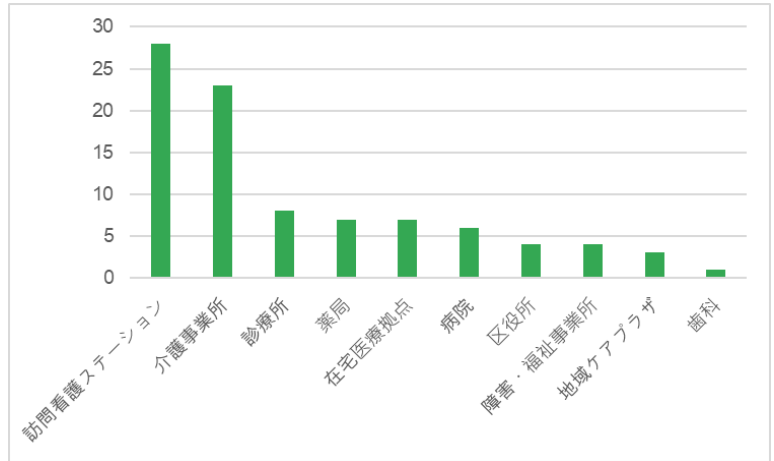
令和6年6月19日開催「最期の瞬間まで安心・納得して生きるを支える」アンケート結果

参加者：会場34名 WEB91名 計：125名

アンケート回収率：73%

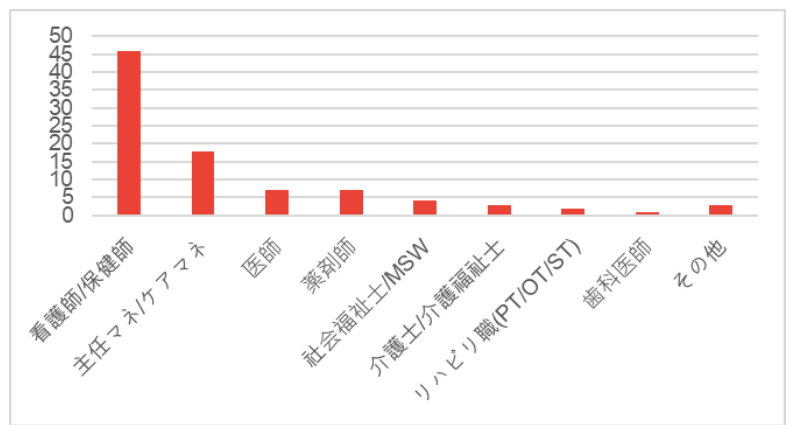
1 所属

訪問看護ステーション	28
介護事業所	23
診療所	8
薬局	7
在宅医療拠点	7
病院	6
区役所	4
障害・福祉事業所	4
地域ケアプラザ	3
歯科	1
合計	91



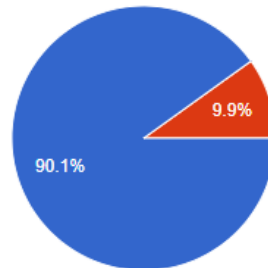
2 職種

看護師/保健師	46
主任マネ/ケアマネ	18
医師	7
薬剤師	7
社会福祉士/MSW	4
介護士/介護福祉士	3
リハビリ職(PT/OT/ST)	2
歯科医師	1
その他	3
合計	91



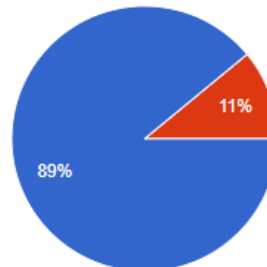
3 本日の研修について

- 大変良かった
- 難しいところもあったが概ね良かった
- 難しく理解できないところが多かった

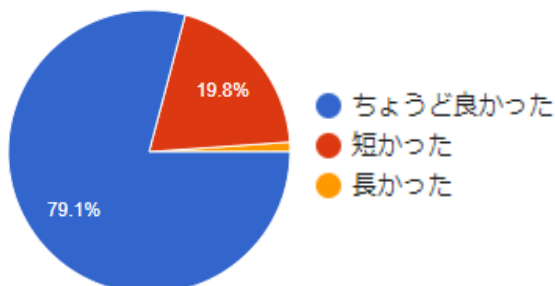


4 今度の診療やケアに役立ちますか

- 大変役立つ
- まあ役立つ
- あまり役に立つとは思えない



5 研修時間



6 印象に残った内容

- ・ 57 才の肝臓癌の男性の事例(類似意見：6)
- ・ ACP について、父権主義、意思決定のプロセス等(類似意見：13)
- ・ 患者の気持ちは揺らぐもの(類似意見：2)
- ・ 意志決定支援にあたり、適切な情報を伝え、選択肢をどのくらい準備することができるか(類似意見：12)
- ・ 「生きるを支える」という言葉
- ・ 選択肢がなければ意思決定は出来ない 選択肢の伝え方、難しいと思いました
- ・ ACP は対話を繰り返し後悔が残らない幸せな最期を迎えられる過程(類似意見：2)
- ・ 納得できる最期を迎えるために治らないという現実を受容する 最後まで生活や人生を諦めない事
(類似意見：2)
- ・ 患者さんご家族、大切な方が安心して納得できる人生を全うできるように私たちができること、しなければならぬことを教えていただき、とても考えたり感じたりできました
- ・ 家族の意向は本当に本人の希望に添ったものなのか、ということを変えて考えさせられました

7 意見・感想

- ・ 事例や論文の引用などお話が具体的でとても分かりやすかった(類似意見：10)
- ・ とても勉強になった もっともっとお話が聞きたかった(類似意見：6)
- ・ 感動した 涙が出るほど心に刺さった 心に響くことが多々あった(類似意見：3)
- ・ 明日からの業務に生かしていきたい(類似意見：9)
- ・ 内容を職員と共有したい(類似意見：3)
- ・ 本当の ACP とは何かを学ぶことができた ACP の考え方を改めねばと思った(類似意見：4)
- ・ ACP = 医療者側の勝手な誘導・満足・強制とを感じるばかりです その人の希望、家族の思いをしっかりと確認する作業を続けていきます
- ・ 意思決定、ACP の間違った認識や病気と老化の線引き、本人の選択にきちんとメリットデメリットも伝えて納得してもらう必要性 在宅医療ではものすごく大切なことだと改めてわかりましたし、理解できました
- ・ 最後の遺族からの手紙「死を想う時にこそ「生」の重みと喜びを知る」パートナーを亡くされた方のお言葉を聞かせていただき有難いと感じました
- ・ 自分の支援の仕方について、見直すことがたくさんあると感じました 人と人とのつながり、関わりの大切さが身にしみました 本人が納得できる支援ができる人になりと思いました
- ・ 看取りの段階にあるご本人、ご家族への丁寧で、繰り返しの対話の大切さを痛感しました
また、父権主義…のお話しは繰り返し学習し、適切な ACP の支援に繋げていきたいです
- ・ ホスピスの患者様と関わることが多く、今回の研修を受けて薬剤師としての関わり方も再確認でき大変勉強になりました
- ・ 在宅で主治医と家族の間に入る人が多い訪問看護です 私たちが困っている、悩んでいる内容が詰まった研修でした
- ・ 見た目もかっこよく、声もとても聞きやすく安心できる声で驚きました 第一線を走り、道を開拓し続けている方々に特有の情熱を感じ、刺激を受けました 明日から頑張っていこうと思いました